

■ 障害者アート支援初級セミナーVol.3 東部地区太田 ■

想像に創造するチカラを磨こう

—— アートなまなざしで
本人の想いをくみとる ——

参加対象

障害のある人のアート活動を

サポートしたい人
活動している人
支援員・相談員
施設長・管理者
等

■日時 2025.1.10(月) 13:00~16:30

■場所 ぐんまこどもの国児童会館 研修室
群馬県太田市長手町480

■講師 関 孝之 氏・佐々木 良太 氏

■参加費 無料 ※裏面の二次元バーコード または、電話かメールよりお申し込みください。

13:00~14:30

- ①講師と当事者によるアートワーク 講師 関孝之氏・佐々木良太氏
- ②参加者アート体験ワークショップ

14:45~16:30

- ③グループワーク:参加者から作品や活動状況の展示発表 現状や課題等
- ④アートレクチャー

仮題「アート活動の気づき」

何を大事にするか 何を加えるか

群馬県 Gunma Art Support Center
障害者芸術文化活動
支援センター

こ・ふ・あ・ん

〒370-0813

群馬県高崎市本町 10-1

イチカワビル 4F [工房 あかね内]

TEL/FAX 027-387-0533

お問い合わせ:(吉田)080-8915-0919

URL www.gunma-artsupport.com

E-MAIL info@gunma-artsupport.com



co-fa

主催 群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふ・あ・ん

私たちが日々向き合う障がいのある人たちは、本当の想いを言語化することが苦手な人たちです。だからこそ、支援する人には「本人の想い」は何かを想像するチカラが求められ、その人が実現していききたい（シアワセになる）ことを、本人と共同で創造していくチカラも求められます。

このセミナーはアートワークを通じて、自分の中の新たな感覚、感性に気づき、既成の概念から解放された発想で当事者の「本当の想い」をくみ取りながら、本人の願うことを支援するポジティブなアイデアを創造していくことを狙いとしています。

そして現場に持ち帰って、障がいのある人の表現（アート）活動はその人にとってどんな意味があるのかを考え、それをサポートする私たちの役割を再認識しながら実践に活かされることを願っています。



講師プロフィール

関 孝之 氏

今から 30 年ほど前に長野県の「風の工房」で、アート活動を提供し始める。1998 年『アートパラリンピック長野』に実行委員として参加。群馬県内でも『わーくはうすすてつぷ』、嬭恋村で『アトリエもく』、中之条町で『なかんじょアートミーティング』で定期的にアート活動を提供。2011 年 NPO 法人ながのアートミーティング設立。2016 年から長野県主催の『ザワメキアート展』実行委員会。長野県内のいくつかの福祉事業所へ定期的なアート活動を提供。2009 年から長野県知的障がい福祉協会主催『精神科領域支援実施セミナー』スーパーバイザー（支援 × アート）

佐々木 良太 氏

長野県在住

主に障害のある施設に赴き、表現活動のサポートをしています。

具体的には製作する現場で個々の様子を見ながら画材やモチーフを考えること。グッズの製作。展示会の準備諸々、額装。施設内に楽器を持ち込んで一緒に音を鳴らすこと、職員の方と相談の上、今後の方向性を決めていくことなどです。日々いろんな人がいるなーと実感しています。自分の思い込みで大事な可能性が消えてしまわないように、なるべく自分自身が柔軟になりたいなーと思っています。

活動範囲は長野県、群馬県を中心に動いています。わからないことがあればなんでも聞いてください。自分もわからないことは一緒に考えましょう。（本人談）

こ・い・あ・ん

個：個人・個性
Co：共同・相互

fun：楽しみ
fan：支持者・サポーター

という意味が込められています。ロゴマークの Co・fun は、それをもとにして作られた造語です。

——アートなまなざしで本人の想いをくみとる——

セミナーのお申込みはこちらから→

電話・メールのお申込み先は以下へ

Tel 027-387-0533

(吉田) 080-8915-0919

E-MAIL info@gunma-artsupport.com

